

市長タウンミーティング概要（国分コミュニティセンター）

令和6年2月18日（日）10:00～11:15

○意見交換

〔質問〕

社会福祉協議会の支援のもとに国分コミセンでサロンを実施している。海老名市で最初にできたサロンであり、現在はボランティアが中心となって活動している。このボランティアの方もサロンを利用している方と同様に高齢となっている。

〔回答〕

地区社協が行っているサロンについては、どこも高齢者が高齢者の対応をしているという現状がある。地区社協を作ろうと提案したのは、私の発案であり、社協と協力してやっていることでもあるため、今後どうやっていくかは一つの課題として対策を考えていきたい。

ひとつ紹介させていただくと、国分寺台では、学童保育と地区社協が近くにあり、一緒にお祭りをやっている。学童保育の指導員は学生が多く、午後の子どもたちが来るまでの午前中の空いている時間に、お祭りの手伝いや高齢者の送迎等をやりたいとの話も出ている。

このように、若者と一緒に活動できるようにしていかなければこの問題は解決しないと考えている。

〔質問〕

地域の居場所作りとしてサロンの活動を実施している。公共施設の老朽化にも関連しているが、施設の備品も老朽化しており、机が重かったり、椅子のクッションが破れていたり、折り畳む際に手を挟む危険性等の問題がある。

高齢者が準備し、活動しているものであることから、備品の更新についてご検討いただきたい。

〔回答〕

備品については、十分わかったので精査させていただきたい。建物がきれいになった際に備品の更新も考えているが、決められた予算内で考えなければならない。

国分コミセンは直営であり、館長は市の職員であることから、聞き取りを行いながら順次高齢者の使用しやすいものに対応していきたいと思っている。

〔質問〕

相模国分寺史跡隣接地でのマンション計画が中止となり、市長にも動いていただき感謝している。この建設計画を契機に相模国分寺跡の景観を守る会を立ち上げ、地区を定めて、建物の高さ制限を設け、景観を守っていこうという地域のルール作りを進めている。現在、勉強会を中心に活動をしており、建物の高さ制限を設ける

ことの同意書を集めている状況にある。

この場所は、ラジオ体操や保育園児の遊び場、散歩等として地域の方々に使われている。また、自治会で盆踊りや教育委員会で移動式遊具の持ち込み、薪能等の催物も開催されていた。

このような素晴らしいエリアで、できるだけお金のかからない施策を実行できないか考えたので提案させていただきたい。

一つ目は、月を実際に見ながらの学習の場として活用できないか。

二つ目は、天体観測のような場として活用できないか。

〔回答〕

史跡地は用地の買収で何十億も使用しており、広場のみの使用ではなく、歴史を感じるものとして、私が発案し、過去に薪能をやった。これには大きな支障もあった。周りの光や、車の光、航空機の騒音、来場者のトイレや交通渋滞、騒音等に加え、雨天時を想定しての別会場の確保と設備の設置等である。

また、興味のある方は最前列を購入していただけるが、後席の方は売れず、赤字が発生してしまい、その分を行政が負担していた。

文化の振興には多くのお金がかかるものであるため難しい点もある。

市内には他にも星の眺めがいいところもある。大谷のサービスエリアも夕焼けがきれいである。

お金をかけないでやれるようなことの追及について、教育委員会に伝えていきたい。

〔質問〕

道路に鉄板がひいてあり滑って危ない箇所がある。また、側溝・溝蓋も劣化が進んでいる。この場所は小学生の通学路となっていて危険な状況である。

このほか、勝瀬文化センター脇の道路について、蓋掛けのみ行っており、側溝を改修していないのはなぜか。

〔回答〕

通学路については、滑ると危険であるため対策が必要だと考える。状況について確認しておく。

勝瀬で実施している改修についても調べさせていただきたい。

〔質問〕

以前は、ららぽーとに向かう交差点（並木橋）で車が滞留していると直進しかできなかったが、道路が拡幅されたことにより右折できるようになった。しかし、右折レーンがなく、狭いため、もう少し工夫が必要ではないかと考える。

〔質問〕

今の質問に関連して、時差式の信号にしていいただければ、問題を解決できると考える。

〔回答〕

ららぽーとができて多くの渋滞が発生するようになった。これについて、我々も色々な対策をしている。現在、カーナビを利用すると並木橋を通るルートを案内する。市では、中央図書館横からアンダーパスをつくっており、来年完成する。また、ららぽーとの周辺道路の整備も実施しており、回遊性を持たせることもしている。

しかし、これにより駅交差点（イオン前）の渋滞問題も出てくる。現在、この交差点は人の横断と車でそれぞれ渋滞を起こしている。市としては、駅東口の自由通路の延伸を計画しており、設計に入ろうとしている。人は上、車は下とすることで、スムーズな人の往来と渋滞の解消につながると考える。

ららぽーとの駐車場に入る車で渋滞も生じているので、発券機を屋上に配置するように考えてほしいと常に言っている。

交差点の歩道を削ることで、車両の動きをスムーズにできるというご意見に対しては、公安委員会と調整が必要となるため、もう少し検討していきたいと考えている。

〔質問〕

いろいろ開発が進んでいるように思うが、一つ心に留めておいてもらいたいのは、車の動線と人の動線の切り分けを明確にして、計画を立ててもらいたい。中央二丁目の郵便局とローソンの間が生活道路のはずなのに、現在パトカーや市役所の車も通り抜けに使っているような状況になっている。新しく街をつくる時にはそういう人と車の動線を考えた道づくりをしないと、中央二丁目の二の舞になってしまうと思う。

〔回答〕

動線の関係は結局のところ交通規制しかない。一方通行にすれば問題が解決するということもある。

道路を拡幅することは大変でお金がかかる。同意いただけないこともあるし、家が建っていると買収で相当なお金がかかる。

また、道幅が狭いところについては、時間帯で規制することにより歩行者を守る形にしなければならない。

道路幅員の狭いところは、一方通行の規制を行わないと、交通渋滞や歩行者が事故に巻き込まれることがあるので、そういったものは地域と一緒にやっていきたいと思う。

〔質問〕

説明にあった公共施設の老朽化や次世代への投資は、自治体として重要な課題だと思う。私のような市民でも参加し、意見を言える政策検討の場や仕組みがあれば教えていただきたい。

〔回答〕

審議会やワークショップ等があるので、広報を見て参加していただければ自分の意見が言える。仕事で参加できない場合は、パブリックコメント等で文書による意見提出が可能である。

〔質問〕

シルバー人材センターへの市の発注数は、かなりの割合を占めており、結果として市役所の天下り先の一つとなっているのではないかと。過去にこういう問題を直接訴えると、人格を否定されるようなことを言われた。そういったことを避けるため、また、実態を把握するためにも、無記名のアンケートをとったらどうか。

〔回答〕

シルバー人材センターに市の元職員がっていることは事実である。センターの運営は市からの補助金で成り立っている。公金が入っている以上、使い込み等がないようにチェックをしなければならない。公共的事業を取り扱うため、信頼関係を築き、公共性を持たせることが必要である。

シルバー人材センター事業は、高齢者の生きがい対策の面もあり、市の政策を深く理解していることが必要であることから、元職員が中枢の一人として働いている。そういった形の中で連携を深めているのでご理解をいただきたい。

〔質問〕

海老名市では家庭的保育事業、いわゆる保育ママをやっているが、実施の予定はあるか。

〔回答〕

現在、保育園がひっ迫している状況であり、家庭で保育士が対応するといった体制づくりまで手が回っていない。そういった新しい方法に目が向いていないことは事実である。

現在の一番の悩みは保育園である。20年前、保育園は9園しかなかったが、現在は39園まで増やした。しかしながら、それでも足りない状況なので今後も検討していきたい。

いただいたご意見は担当に研究するように指示したい。

〔質問〕

広報の市長タウンミーティングの案内で、「要約筆記や手話通訳が必要な方は申し出てください。」とあったが、障害者手帳を持っている方のみが対象であった。必要があればサービスを使え、市民の誰もが参加できる方法を考えていただきたい。

〔回答〕

それについては十分反省する。障害者手帳を持っているかどうかではなく、耳が聴こえにくくなっている方についても配慮をしていきたい。